



# 北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3217回例会・2018年10月3日

## 本日のプログラム

「職場移動例会」  
北網圏北見文化センター

2018～2019年度国際ロータリーテーマ

## 『インスピレーションになろう』

R.I. 会長 バリー・ラシン

### 第3216回例会(9月26日)の記録

**司会** 小池親睦活動副委員長

**ロータリーソング** 四つのテスト

**会長挨拶** 坂井会長

今日はプログラム委員会からグループ談議のお題が配られて、「胆振東部地震、減災、支援できる事」というタイトルであります。実は帰山会員が3度ほどボランティアでこの地に行って来たこと聞いております。パークゴルフ大会が24日曜日に4ロータリーでありました。北見クラブから6名出て楽しんできました。情報集会でも4ロータリーの親睦には北見クラブとして沢山出たほうがいいとお話ありましたので、うちもみんな6人が出たいという気持ちの中でパークゴルフを楽しんできたところであります。

ガバナー月信に細川ガバナー事務所が出ています。ここに8月8日の3ロータリーの公式訪問1ページ、ロータリーデーの事が半ページ出てました。そういった意味では北見として発信できたのかなと思っております。

実は9月というのは、月刊の中で、基本的教育等、識字率の向上月刊、それからロータリー友の月刊ということで、ロータリーの重点目標の一つです。ガバナーが書いていますが、世界には2億5千万人の基本的な読み書きの出来ない子供がおり、その半数は就学児童ということです。就学年令に達しても就学できない子供が5千900万人いるといわれています。ロータリーは財団を通して少しでも良くしようということで取り組んでいます。

今日も皆様にとって有意義な例会になりますことを願って会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

### 幹事報告 高野幹事

- 10月例会変更のお知らせ  
10月3日(水) 北見クラブ 移動例会 12時30分 会場:北網圏北見文化センター  
10月18日(木) 北見西クラブ 家族同伴味覚夜間例会 18時 会場:自然休養村  
10月31日(水) 北見クラブ 特別休会
- 今週29日帯広で地区大会が開催されます。参加されます皆様安全運転をお願いいたします。
- 理事会について  
第6回理事役員会10月3日(水)11時30分より北網圏北見文化センターで開催されます。
- 10月のロータリーレイトは1ドル112円です。
- 2017-18年度例会出席皆勤者の表彰(連続皆勤者10名)  
29年 永田会員、28年海田会員・駒形会員、16年 川村会員、11年 太布会員  
8年 坂井会員、6年 主藤会員、4年 今城会員、3年 岡村会員、1年 金田会員  
017-18年度のホームクラブ例会100%出席者 海田会員・坂井会員



平木副委員長



帰山会員



米山会員



柏尾会員



小林会員



森本会員



松島会員



岡村会員

今日のグループ談議は、事前に告知もしておりましたが、胆振東部地震から3週間経ちました。また、いつこのような災害にみまわれるかもしれませんので、減災、支援できる事は何ということ、ご自身の経験も踏まえて色々談議していただければと思ってお題を用意させていただきました。

いつも、テーブルで一番若い方に進行役をお願いいたします。20分程議論いただきまして、有志の方にまとめていただきたいと思っております。

現地は毎日一般のボランティアの方が200名前後来てまして、その他にJCのメンバーだいたい20名、プラスOB5名～10名、支援に行っていました。

僕らOBは2016年の2年前に清水南富良野災害がありましたけども、その時に僕が北海道の専務をやってまして、その時に災害に携わって、全然対応が出来なかったのを教訓に、北海道防災対策協議会というのを僕ら2016年度地区役員が中心となって今回の胆振東部地震に対応にあたりました。支援の中で一番大切なのはお金が必要です。あとは自衛隊の方も消防の方も集まってきて、ある程度落ち着いている状況になってるようになってきました。仮設住宅もやっていますので、安心とまでいきませんが、まだまだ支援する部分はあると思っておりますが、僕らOBはひとまず月曜日で解散という形で帰ってきました。

直接には言えませんでしたけど停電になったことによって、会社によっては1300万くらい赤字が出たと、直接揺れたわけではないので、保障がどこからも無い、水が生活する上では一番困るということでした。度合いによってやれることって変わりますよねっていう結論になりました。以上です。

大きく分けて2つあります。一つは体験しないと地震の減災について考えないということ、もう一点は現場の災害がある場所では情報が入りにくいという、今回停電がありました。実際東京にいたほうが情報が入って指示がしやすかった。ただし、携帯電話の電池が切れてしまうので、その点の連絡がいかに素早くやるかという点が一番悩んだという話がありました。

災害が起きた時に地域に何が大事かというやはり経済を回すこと、ある程度地震の災害がそんなにありませんという放送をするなりしてお客様に来てもらってお金を落としてもらおうというのが何よりも被災地の方にとって一番大事な事なんではないかというお話になりました。

減災ということで、事前にこれからもしっかりと準備しておくという事と、電池だったり、ラジオだったり、そういう物が無いと情報が入らない。車はテレビがついていたので、情報が入ったりしたが、こっち側が電源が入らないものは、テレビがつかなくなると、情報が入らないというところで、事前に一人一人が準備しておく、減災になるという名言が出ました。

支援という形なんですけれども、現地に義援金を送るということ、ロータリーに入るきっかけが社会貢献に繋がってこれを気に支援に繋がるのではないかという話がありました。

まずはラジオが無かった事で情報が困りましたという話がありました。あとは水です。あとは車、ガソリンを満タンにしておく事が少なく、定期的にガソリンは満タンに入れておいたほうがいいという事です。真冬にもしこの地震が起きて停電が起きたらどうだったのだろうということもありまして、二次災害という事も考えまして、ストーブの準備も必要という話もありました。そして地震保険に入っておくという事です。

減災については、防災用品とか棚を倒れないようにするとか、停電になった事で、独居老人の方に連絡がとれないという事で、不安になっているご老人の方を迎えに行くと喜んでおられたという事と、傷んだ食べ物を片付けてあげた事、一声かけてあげることが出来る事であるのではないかと思います。

あとはラジオが必要と言っていた事です。北見では広報車が走って無かったので、正しい情報が届いていなかったという事でした。水が出なくなるという事や、電話が繋がらなくなるという事や、正しい情報が届かなかったので、地域FMのような情報発信があれば良かったという事でした。最後に支援出来る事は、体力のある人は、手伝いに行き、お金ある人は出したら良いのではないかと話でした。

今回の地震で感じたのは、電気が無くて困ったという事を考えると、発電機を備える必要ではないかと。オール電化住宅が増えてますが、オール電化の住宅にも使えるEVが一台あると2日～3日使えるという事になっております。

災害というのは忘れたころにやってくる。日本で初めてのブラックアウト。情報の偏りもある。今日のディスカッションを教訓にしてほしいと思います。

【次回10月10日】 ゲスト卓話「ハッカ文化に魅せられて」北見ハッカ記念館 館長 山口 淳一 様

編集後記 1人1人の準備が、地域の減災につながります。(T.K)

2018～2019年度 北見R.C.活動方針

## ロータリーの輝きを人へ未来へ

2018～2019年度 北見R.C

●会長/坂井 浩

●幹事/高野 英明

●週報編集/小山 孝之

### パスト・ガバナーとは

以前に地区ガバナーの任務を果たしたことがあるロータリアンをいいます。

## プログラム グループ談義【4】『胆振東部地震！減災・支援、できること？』